

(自治会活動に関するアンケート調査_2025年9月実施)

アンケート集計報告書

2025年11月1日

1. アンケート回答者

80名 web 27名 紙媒体53名 うち、匿名 17名 (回答率 68%)

2. アンケート集計結果

次ページ（グラフ、計数）以降をご参照ください

※今後の検討を深めるための材料として所見を付加しています

📖 閲覧者の皆さまのご意見をお待ちしております

3. アンケート結果について

次の質問について未回答者がありました

1.居住形態	2.回答者	3.世帯主	4.世帯構成	4-2.移動手段	4-3.世帯状況	9.デジタル化
1名	1名	1名	1名	1名	2名	1名

4. その他

次の点については別添をご参照ください

① アンケートの回収率について（別添1ご参照）

自治会アンケートとしては良好で信頼性のある水準と評価できる

② 移動手段に関する調査結果について（別添2ご参照）

高齢者支援、医療や生活サービスの充実、地域交通の整備に関する意見が多く寄せられた

③ スマホ・パソコンの利用率について（別添3ご参照）

高齢層の利用率が想定以上に高い

④ 自治会のホームページ閲覧率の評価（別添4ご参照）

全国的な傾向や他の自治体の状況と比べてかなり高い水準にあると考えられる

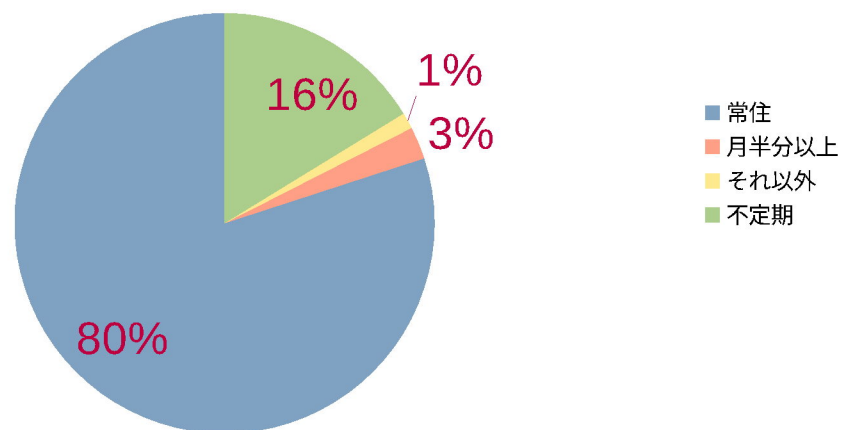
5. 今後の方針等について

より良い自治会運営と、地域の皆さまが参加しやすい活動づくりに活かしてまいります

以 上

ヒューマンヒルズの住環境を考える 会事務局

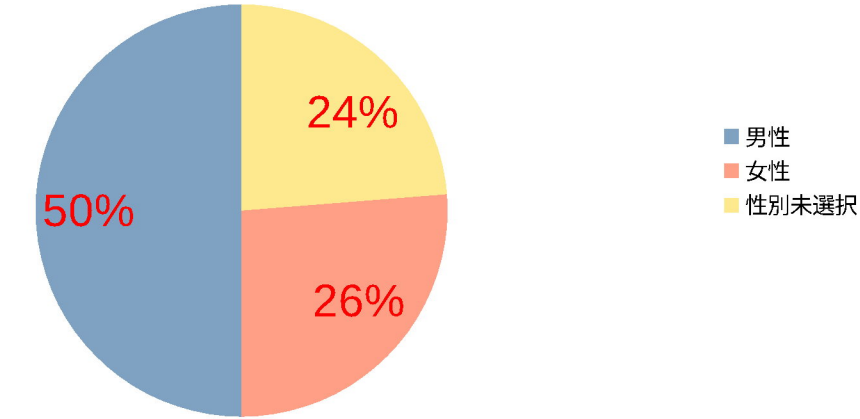
1. 居住形態



割合 (%)		
「それ以外の記述内容」 ・ 1年に10回位来居 (所見)	常住	常住 80.0
	別荘等	月半分以上 3
		それ以外 1
		不定期 16

概ね自治会居住の全世帯の割合と合致している

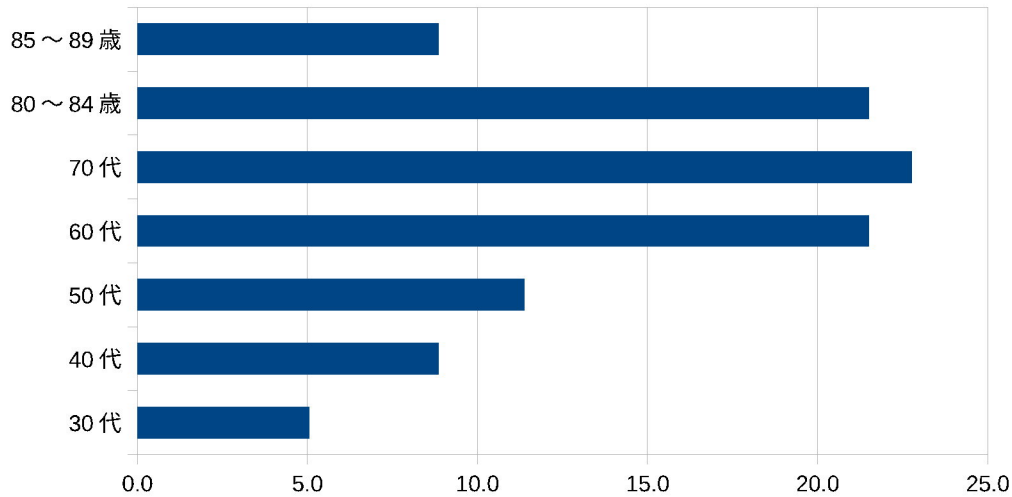
2－1．回答者の性別



(所見)
概ね、想定どおり

割合 (%)	
男性	50
女性	26
性別未選択	24

2-2. 回答者の年齢



(所見)

本アンケートの回答者の年齢は世帯主の
年齢に比べて若年者が多い
実際に組長、役員の候補者は想定より
多いと思われる
※ 次ページの「世帯主の年代」ご参照

割合 (%)		
30代	5.1	69.6
40代	8.9	
50代	11.4	
60代	21.5	
70代	22.8	
80～84歳	21.5	30.4
85～89歳	8.9	

ご参考

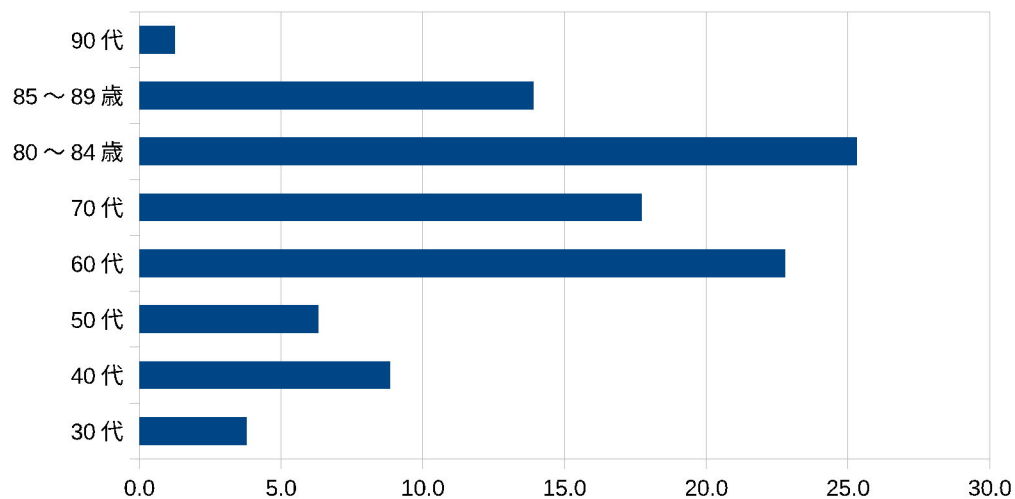
回答者 (年代)	割合	年代回答数	(うち、Webでの回答)
20代	0.0	0	0
30代	5.1	4	4
40代	8.9	7	5
50代	11.4	9	5
60代	21.5	17	9
70代	22.8	18	4
80～84歳	21.5	17	0
85～89歳	8.9	7	0
90代	0.0	0	0
回答者数		79	27

※ アンケート回答数80名 うち、年代未記入者 1名あり

(所見)

若年層ほどスマホの扱いに慣れているためWeb回答者が多い

3. 世帯主の年齢



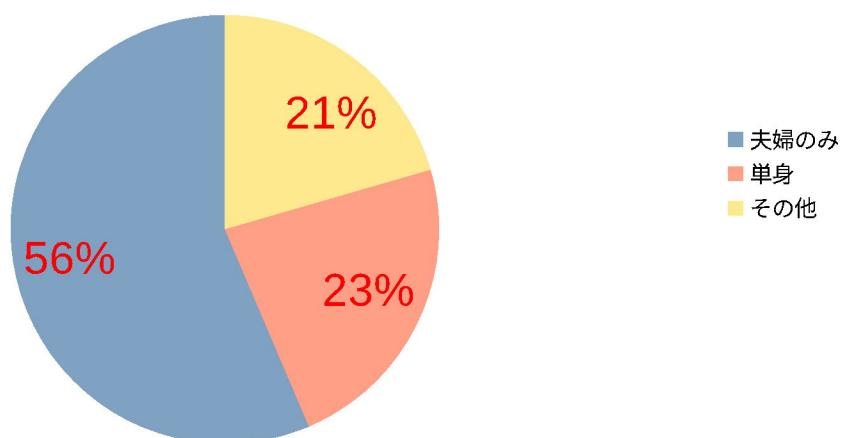
(所見)

本アンケートの回答者の年齢と比較して
見て行きたい

※ 前ページの「回答者」の年齢と併せて
ご覧ください

割合 (%)		
30代	3.8	59.5
40代	8.9	
50代	6.3	
60代	22.8	
70代	17.7	
80～84歳	25.3	40.5
85～89歳	13.9	
90代	1.3	

4. 世帯構成



(所見)
想定どおり

割合 (%)	
夫婦のみ	56.4
単身	23.1
その他	20.5
その他(内、成人の家族あり)	14.1

※ 単身者の年齢構成は次のとおりです

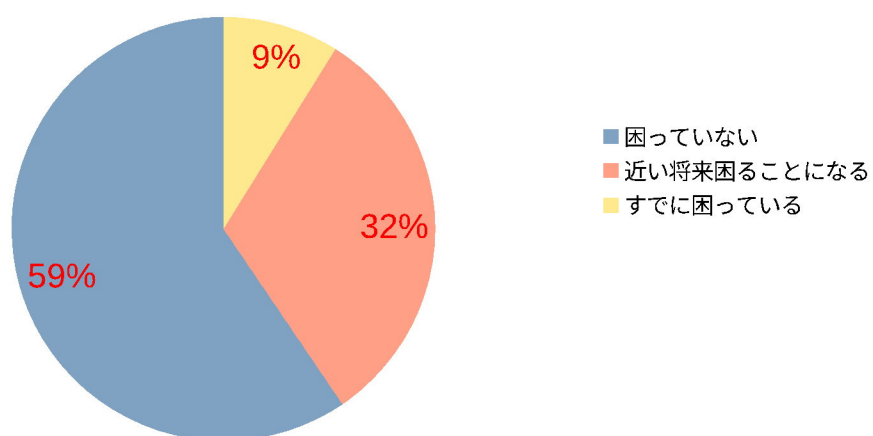
ご回答者 (年齢)	割合	人	世帯主 (年齢)	割合	人
20代	0.0	0	20代	0.0	0
30代	5.6	1	30代	5.6	1
40代	0.0	0	40代	0.0	0
50代	16.7	3	50代	11.1	2
60代	11.1	2	60代	5.6	1
70代	22.2	4	70代	22.2	4
80～84歳	33.3	6	80～84歳	38.9	7
85～89歳	11.1	2	85～89歳	11.1	2
90代	0.0	0	90代	5.6	1
計	100	18	計	100	18

※ 単身者の年齢構成は次のとおりです

(所見)

単身者のうちの55%は80歳以上の高齢者となっている

4－2．移動手段



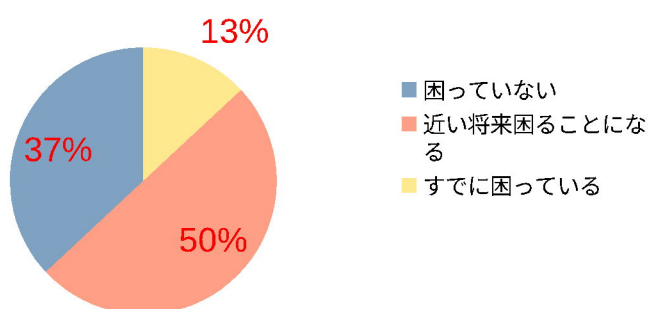
割合 (%)		
困っていない	59	59
近い将来困ることになる	32	41
すでに困っている	9	

(所見)

移動手段の確保は自治会として検討の必要を強く感じる

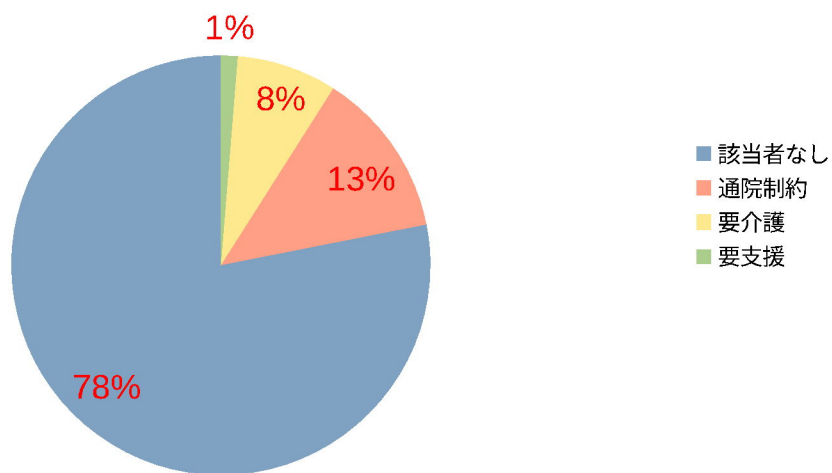
☞ 詳細は別添2をご参照ください

4－2．移動手段（70歳以上の場合）



割合 (%)		
困っていない	37	37
近い将来困ることになる	50	63
すでに困っている	13	

4－3．世帯の状況

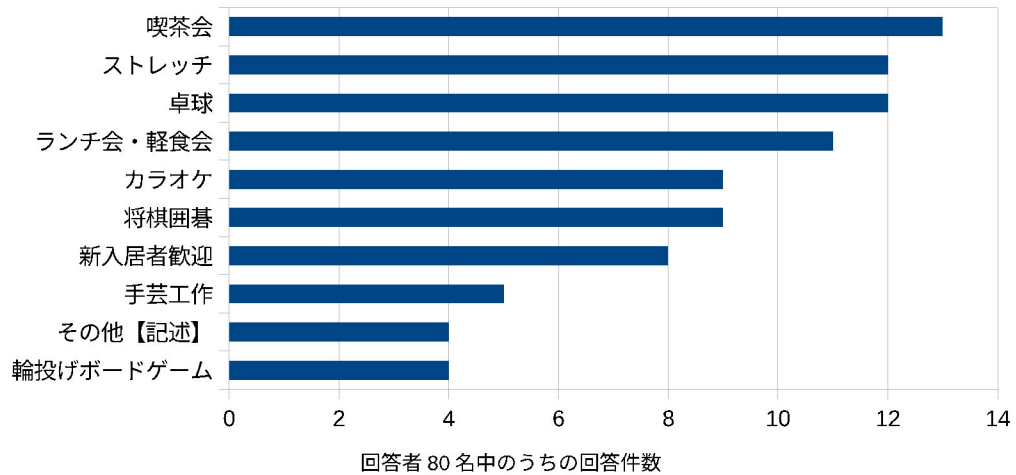


(所見)

回答者の年代と併せてみると、組長の選出に
困ることはないのではないか…

割合 (%)		
該当者なし	78	78
通院制約	13	22
要介護	8	
要支援	1	

5. 集会所での楽しみ



(所見)
コミュニケーション施策を立案するのに十分な情報を
得ることができたと思う。

※ 上記には現在集会所で行われているクラブ活動は
選択肢に入れておりません。

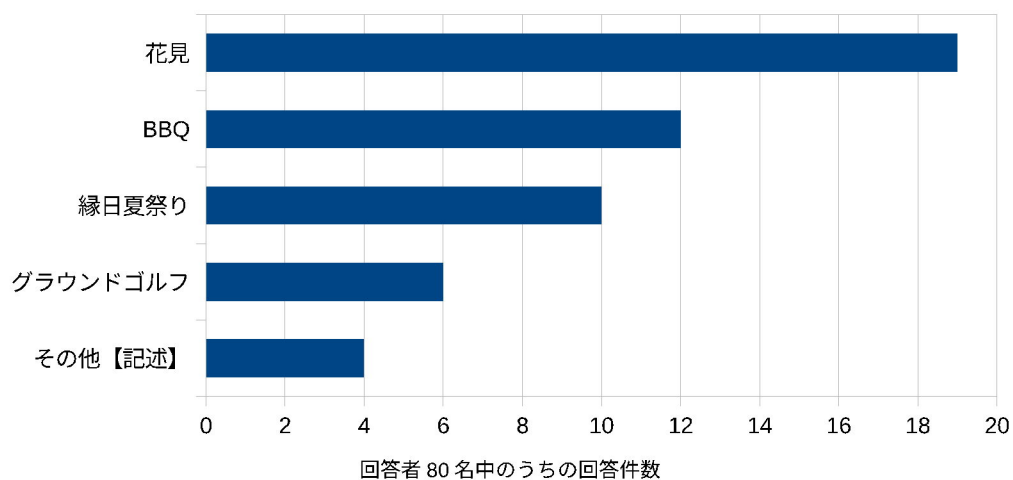
☞ 現在行われているクラブ活動、教室については
当自治会のホームページに掲載しております

「その他の記述内容」

割合 (%)	
輪投げボードゲーム	4
その他【記述】	4
手芸工作	5
新入居者歓迎	8
将棋囲碁	9
カラオケ	9
ランチ会・軽食会	11
卓球	12
ストレッチ	12
喫茶会	13

その他として記述して いただいたご提案です	ガレージセール、不用品リサイクル
	私的会合
	手芸・工作、子供の習い事等により日程調整などが難しいかなと思ったりもしましたが、たとえ例として染め物体験や布草履作り、門松作り等のイベントで子供から大人まで楽しめるイベントがあったら交流が深められるのかなと感じました。
	庭仕事
その他のご意見	行事が増える事により役員の負担が増えてしまうのは困ります。有志主体で運営するのであればよいと思いますが
	最近ヒューマン居住の方が知らない方が散歩しています。それで新入居者歓迎に✓を入れました。
現状行われているサークル活動は除外しています	脳活マージャン

5－2．公園でのお楽しみ

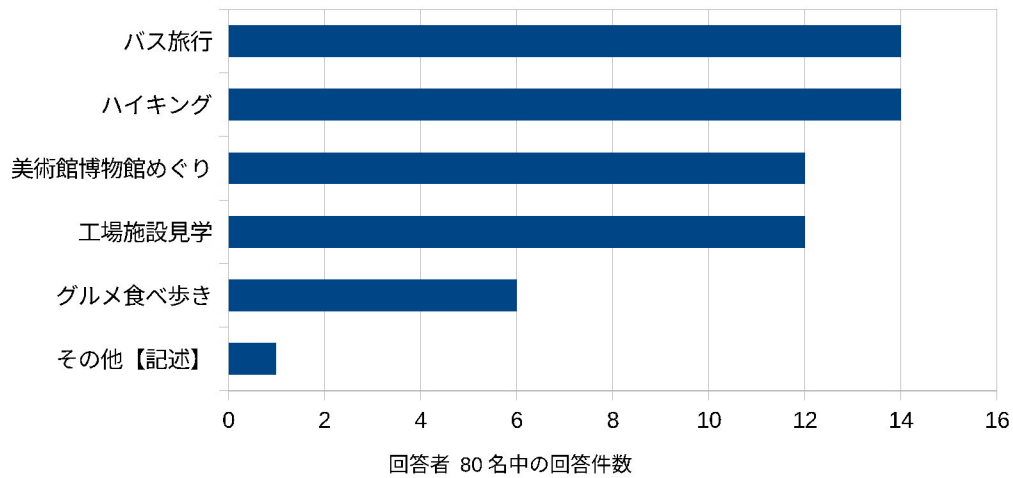


	割合 (%)
「その他の記述内容」	
・ ラジオ体操	
・ ガレージセール、不用品リサイクル	
【注】 ラジオ体操は既に行われています	
その他【記述】	4
グラウンドゴルフ	6
縁日夏祭り	10
BBQ	12
花見	19

(所見)

集会所でのお楽しみと同様示唆に富んでいるという印象
お花見とBBQの組み合わせなども考えられる…。

5－3．町外での楽しみ



	割合 (%)
「その他の記述内容」	
・ゴルフコンペ	
【注】 ゴルフ会はすでに行われています	
☞ 当自治会のホームページご参照	
(所見)	
工場見学などは子どもさんのいる世帯での要望が多かった	
その他【記述】	1
グルメ食べ歩き	6
工場施設見学	12
美術館博物館めぐり	12
ハイキング	14
バス旅行	14

6. 行政への要望

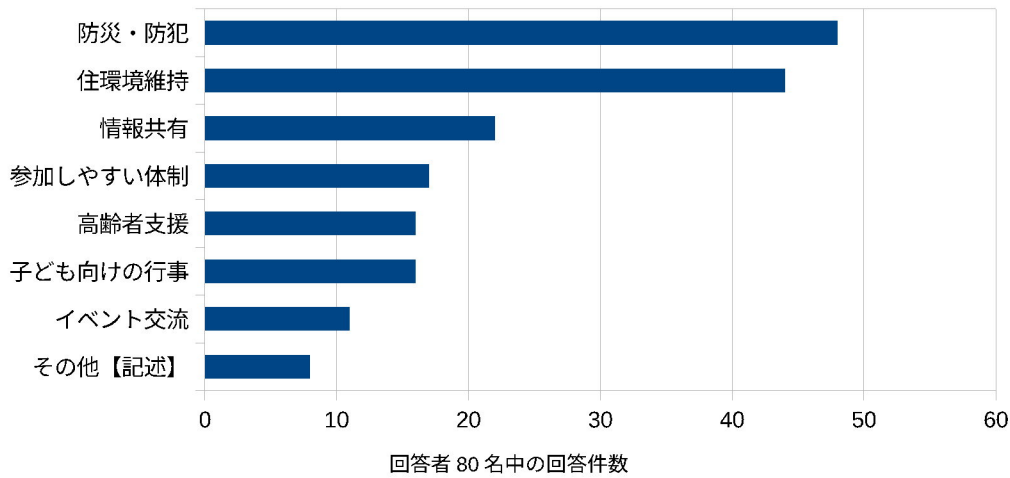
項番	大区分	中区分	区分	意 見
1	環境整備	植生	道路	道路の木が手入れされておらず道路に迫り出してきており危ない。
2			清掃	町道の樹木伐採と側溝の清掃
3			空地 隣家	傾斜の土地他雑草だらけになっている所などかしてほしい。火事の危険、
4				居住地周辺の函南町の所有地（880-140番地）からの雑草や竹や木などが侵入してきており対応に多大な労力がかかる事。
5		動物		野良猫対策
6				猪が来ている
7				猫が庭に排便をする
8				ハクビシンや猪の被害
9		インフラ	全般	インフラの劣化
10	道路		昨年の冬に、ヒューマンヒルズを出てすぐの坂が、雨ではないのに染み出した水が凍ってとても怖かったです。側溝の落ち葉のためだったのだらうと思うのですが、いかにも明日は凍りそうだった時、どうしたらいいのか分からなかったし、誰かが動いてくれるだろうという他人任せな気持ちがあったことも否めず、今後、動き方など知っておけたらなと思いました。	
11	防犯		防犯カメラなど防犯対策	
12	交通			町内バスの拡充
13				車の運転ができなくなった時 困る
14				週に一回でも住民が通院や買い物で利用できる乗り合いタクシーの運行を検討してもらいたい
15				免許を手放した時の生活手段
16				交通手段（将来の）、買い物が遠い
17				本年6月に車を手放した。現在は電動シニアカーとタクシー依存で大変不便しています。
18	行政の対応			熱海・箱根・三島に囲まれてなぜ発展しないのか？
19				行政の法律違反・犯罪
20	文化・芸術			文化芸術活動の充実化
21		子ども		体験格差が社会問題として上がっている部分もあるので、子供向けのイベントを増やしてもらいたいです。図書館のイベントもすぐ定員いっぱいになってしまいます。
22	その他の意見			ヤマほどあるのでたびたび言っています
23				細かな配慮して頂き満足しています

(所見)

大きなテーマは、環境整備と交通と読み取れる

意見を取りまとめて行政への働きかけを行っていきたい

7. 自治会への要望



(所見)

想定どおりの結果であるとの印象
 高齢者支援については、移動手段のアンケート
 結果と行政への要望とリンクして考えるべきもの
 高齢者支援については70代～の要望が強く
 子ども向けの行事については、子ども世帯の
 要望が強い

その他【記述】	8
イベント交流	11
子ども向けの行事	16
高齢者支援	16
参加しやすい体制	17
情報共有	22
住環境維持	44
防災・防犯	48

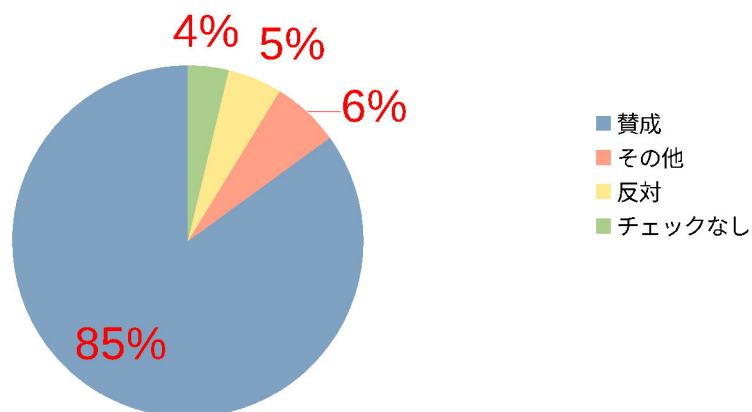
【高齢者支援の内容】

大区分	区分	支援内容
家事支援		電球交換・ゴミすて
交通支援	移動	足の確保
		交通手段の改善 駅までの交通手段を提供してほしい
		共同で利用できる交通手段
		交通方法
	買い物・通院	買い物、通院等にシャトル便や巡回車、歯科定期便
		買い物
		外出時の交通手段、買い物など（将来的に）
		買い物サポート等
		買い物支援
		通院と買い物

【その他の記述】

大区分	区分	意 見
支援	子ども	子ども会に代わるものに
	子ども・高齢者	子ども向けの行事, 高齢者支援, 障害のある方や高齢者、子供が安心して参加できる教室があるといい。
	交通	移動手段の整備
交流		緩いつながり
情報共有		除草等の情報がほしい
		総会議事録はホームページだけでなく、紙ベースでも出してほしい
自治会活動		自治会活動は不要では？
環境整備		1. 紅葉（あや杉、ナンキンハゼ等）シンボルツリーの育成もあった方がよいと思います。街の風情として。 2. 植栽の「おたすけ隊」の有志を募るなどいかがですか

8. 組数・役員の再編



(所見)

想定どおり、その他と併せて
委員会の方向と一致している
規約の改定にあたっては下記の記述内容を反映したい

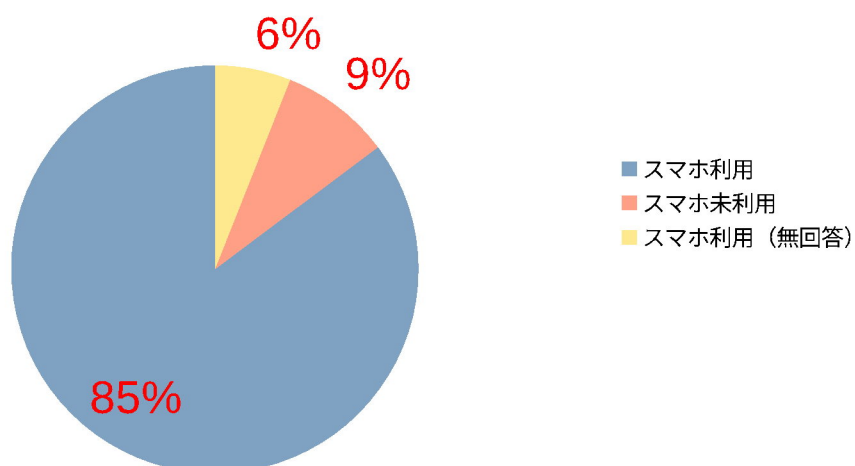
割合 (%)

賛成	85
その他	6
反対	5
チェックなし	4

【その他の記述内容】

・ 同一人物固定しない
・ 現在の10組編成を行く行く8組位にしないと、まず組長を確保できないでしょう
・ 再編賛成。自治会としてすべき事の絞り込みをした上で、役員・組長業務対し有償化を検討。また、任期長期化不可の明文化
・ 組数・人数・任期の見直し内容が不明なので何とも言えませんが、負担軽減と言う方針には賛成します。
・ 従来の形式を変えずにその都度生じてくる問題に細かく工夫をかさねながら取り組んでいくのがいいと考える。
・ 高齢者が増えたので有料で役員をお願いしたいと思います
・ 変更した方がよさそうではあるが、といってどうすれば良いのか？ 対案が私にはないのです
・ 私は体調が悪く自治会の行事等の参加は無理な状態で心苦しく思っております。 組長の輪番制について一考を要します。
・ 組の統合、再編成、役員組長等の活動の簡素化を図る自治会からのお知らせは 毎月必要か？閑散期（冬場）は隔月の発行でも良いと考えます。
・ 組数を10組から5組にして定年制を考える案
・ 役員の役割・仕事が多すぎる
・ 高齢者とセカンド入居者対策

9－1．スマホの利用状況



(所見)

想定どおり

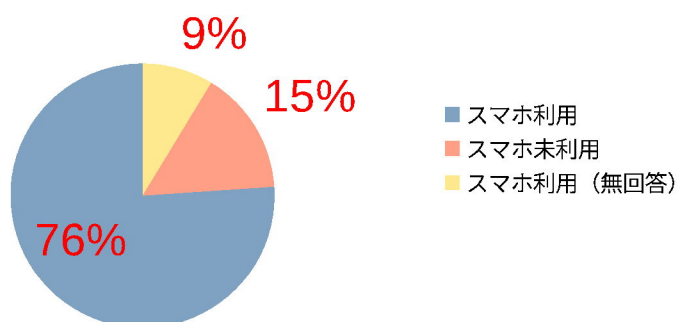
ただし、

スマホによるアンケート回答者の割合や、パソコン・スマホ教室への参加状況から

利用者のレベルにはバラつきがある

高齢者人口が多い割に高い利用率となっていることに注目したい

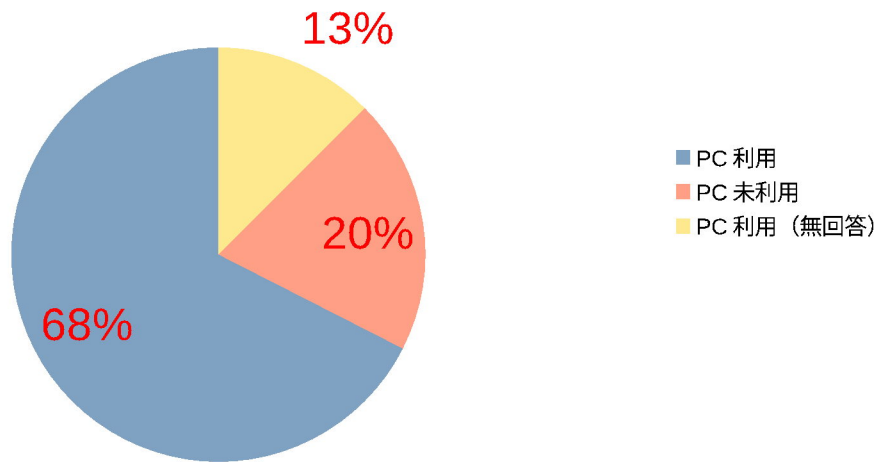
9－1．スマホの利用状況（70歳以上の場合）



※ 高齢者の利用率は他の自治体に比べて極めて高い

割合 (%)	
スマホ利用	76.1
スマホ未利用	15
スマホ利用（無回答）	9

9-2. パソコンの利用状況



(所見)

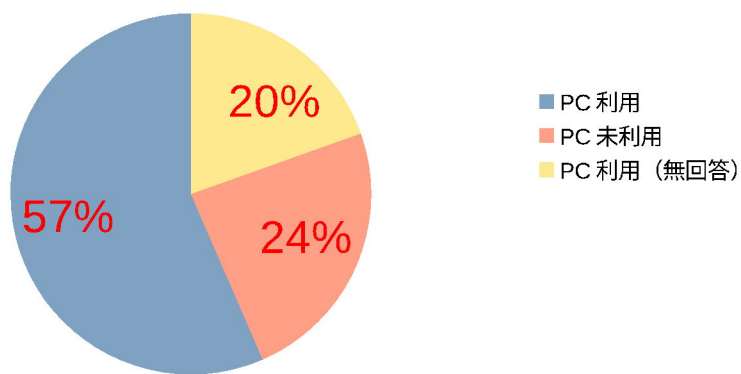
PC利用率は想定以上

ただ、若年層の利用率は想定より低い

高齢者人口が多い割に高い利用率となっている

割合 (%)	
PC利用	68
PC未利用	20
PC利用（無回答）	13

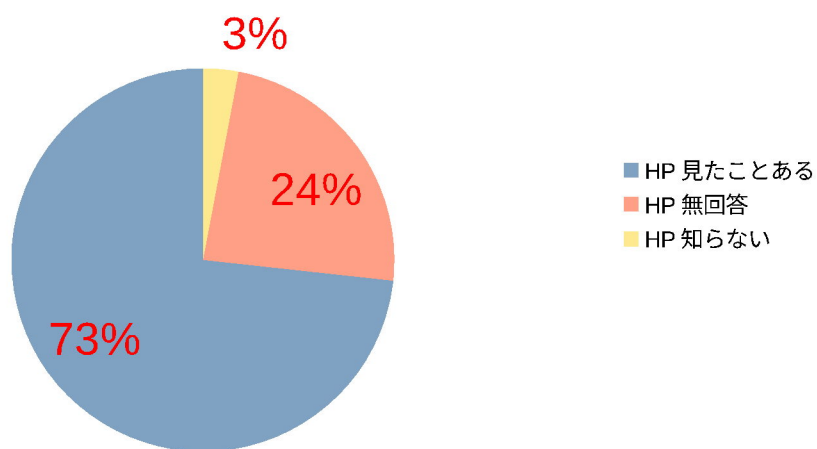
9-2. パソコンの利用状況（70歳以上の場合）



※ 高齢者の利用率は他の自治体に比べて極めて高い

割合 (%)	
PC利用	57
PC未利用	24
PC利用（無回	20

9-3. ホームページの閲覧状況



(所見)

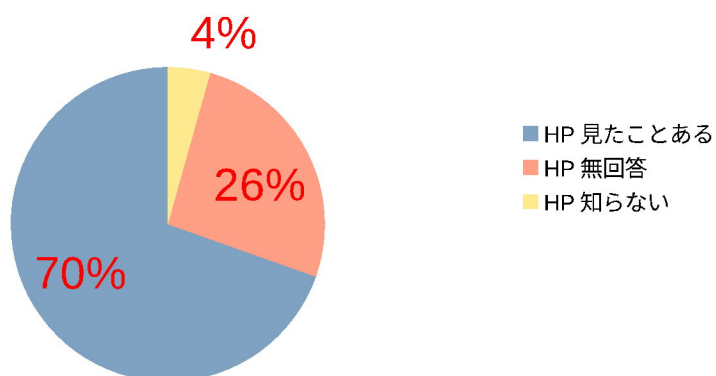
ホームページ公開時から比べると

隔世の感がある。思いのほか閲覧者が多い印象

他の自治体の公式ホームページの閲覧率と比べると倍以上の閲覧率となっている

割合 (%)	
HP見たことある	74
HP無回答	24
HP知らない	3

9-3. ホームページの閲覧状況



※ 高齢者の閲覧率は他の自治体に比べて極めて高い

割合 (%)	
HP見たことある	70
HP無回答	26
HP知らない	4

アンケートの回収率について

以下は、今回のアンケートの回収率の評価について ChatGPT に質問して得た回答です。

質問:

自治会で住環境を考えるアンケートを実施しました。回収率は68%ほどでした。この回収率はどのように評価できますか？

回答:

「アンケートの回収率」は、対象やテーマによって評価の基準が異なります。

一般的な目安

- 住民アンケート（自治体・自治会・学校など地域調査）
→ 回収率 **50～70%** が平均的とされ、60%を超えると「比較的高い水準」と評価されます。
- 郵送アンケート（行政・企業調査）
→ 20～40%程度が一般的。50%を超えると「かなり良い回収率」と見なされます。
- Web アンケート
→ 数%～20%程度が多く、回答率が低くなりやすいです。

今回の「68%」について

- 自治会という比較的身近な組織で、住環境という関心の高いテーマにもかかわらず、全世帯の約3分の2から回答を得られたことは **十分高い参加率** と言えます。
- 学術調査などでも「60%以上あれば信頼性のあるデータ」と扱うことが多いため、結果をまとめて意見反映に使えるレベルです。

評価ポイント

- 肯定的：「関心の高さがうかがえる」「全体傾向を把握するのに十分」
- 留意点：「未回答の約37%には異なる意見や無関心層が含まれる可能性」
→ 今後は説明会や掲示など、未回答層にも結果を共有する工夫が大切です。

以 上

移動手段に関する回答結果について

以下は、今回のアンケートの移動手段について ChatGPT に質問して得た回答です。

1. 調査結果の概要

- 調査対象：町内会全世帯
 - 調査方法：アンケート調査
 - 質問内容：「現在、または近い将来、移動手段に困ることがあるか？」
 - 回答結果：41%の世帯が「困る可能性がある」「すでに困っている」と回答
-

2. 他地域・他調査との比較

2.1 全国的な調査結果

- 内閣府調査（2024 年）：過去 1 か月以内に移動に困った経験がある人は約 16%。
これは「過去の実体験」に基づく質問であり、現在または将来の不安を含まないため、町内会の調査結果より低い数値となっている。

2.2 地方自治体の調査結果

- 島根県調査（2023 年）：公共交通が不便だと感じている人の割合は約 30%。これは主観的な不便感を問うもので、町内会の調査結果と同程度の数値となっている。
- 千葉県調査（2022 年）：移動困難者の割合は 42.6%。これは「早急な対策が必要」と行政が判断した世帯の割合であり、町内会の調査結果より高い数値となっている。

2.3 都市部の調査結果

- 目黒区調査（2021 年）：特に不便はないと感じている人は 57%。逆に言えば、**43%**の人が何らかの不便を感じている。これは都市部での調査結果であり、町内会の調査結果より低い数値となっている。
-

3. 分析と考察

- **問いの内容の違い**：町内会の調査は「現在または近い将来に困る可能性」を問うものであり、内閣府調査や島根県調査は「過去の実体験」や「主観的な不便感」を問うものであるため、数値に差が生じている。
 - **地域の特徴**：町内会の地域が高齢化が進んでおり、公共交通の利便性が低い場合、移動手段に困る世帯の割合が高くなる可能性がある。
 - **行政の認識**：千葉県調査の結果からもわかるように、移動困難者の割合が高い地域では、行政が早急な対策を必要と判断している。
-

4. 結論

町内会の調査結果（40%）は、他地域の調査結果と比較しても高い割合であり、地域の移動手段に関する課題が深刻であることを示しています。特に高齢化が進んでいる地域では、移動手段の確保が生活の質に大きく影響するため、早急な対応が求められます。

5. 今後の提案

- **地域交通の確保**：コミュニティバスやデマンド型交通の導入・拡充を検討する。
 - **生活支援サービスの充実**：移動販売車や宅配サービスの導入を進める。
 - **住民同士の助け合いの促進**：送迎ボランティア制度や相乗り制度の導入を検討する。
 - **行政との連携強化**：市町村の交通政策や高齢者福祉施策と連携し、支援を求める。
-

このレポートは、町内会の移動手段に関する課題の深刻度を明確にし、今後の対応策を検討するための資料としてご活用いただけます。必要に応じて、

スマホ・パソコンの利用率について

以下は、今回のアンケートでのスマホ・パソコン利用率について ChatGPT に質問して得た回答です。

質問:

スマホへの利用率は 85%、パソコンの利用率は 68%。この調査の回答者の年代は、30 代 5.1%、40 代 8.9%、50 代 11.4%、60 代 21.5%、70 代 22.8%、80 代以上は 30.4%です。

ChatGPT:

ありがとうございます。いただいた数字を整理すると、回答者の中心は **60 代以上**（約 75%）で、特に 70 代・80 代以上が過半数を占めています。

年代構成（町内会調査）

- 30 代：5.1%
- 40 代：8.9%
- 50 代：11.4%
- 60 代：2.15%
- 70 代：22.8%
- 80 代以上：30.4%
- ➡ 60 代以上：75%

全国傾向と比べた際の見え方

1. スマホ利用率 85% の高さ

- 総務省「通信利用動向調査」では、60 代のスマホ利用率は **70%前後**、70 代は **50%台** 80 代は **30%台以下**という報告が多いです。

それに対して、あなたの町内会では **高齢層が多いにもかかわらず、全体で 85%**。

別添 3

→ 全国平均より **かなり高め** で、特に高齢層の利用率が想定以上に高い可能性があります。

2. パソコン利用率 68% の健闘

- 全国の世帯保有率は **65%程度** ですが、高齢層では利用率が低下しがちです。
- 70 代で **30%台～40%台**、80 代では **1～2 割以下** という調査結果もあります。
- → 高齢者が多い構成にもかかわらず 68% は非常に高い水準といえます。

3. 年代構成を踏まえた相対評価

- 若年層が少ないにもかかわらず、利用率は全国水準を上回る。
- つまり「高齢世帯でも ICT を積極的に使っている町内会」と言えそうです。
- 他自治体と比べると「スマホ・パソコンともに利用度の高い、高齢層デジタル化が進んでいる地域」という特徴が浮かびます。

考察・示唆

- **強み**：高齢者でもスマホ・パソコンの利用率が高く、今後のオンライン化（自治会連絡、電子申請、防災情報共有など）に強い基盤がある。
- **課題**：回答者の大多数が高齢層なので、「世代交代後はどう推移するか」は未知数。若年層（30～50 代）が少ない点は、利用率の高さを維持できるかどうかの鍵。
- **活用の方向性**：紙の回覧板を完全にやめるのは難しくても、LINE やメール連絡網、自治会 HP の活用など、デジタル化を進めやすい環境にあるといえる。

ホームページ閲覧率をどのように評価するか

以下は、今回のアンケートでのホームページ閲覧について ChatGPT に質問して得た回答です。

質問:

私たちの町会には自治会ホームページがあるが、当ホームページの閲覧率は76%となっている

回答:

なるほど！「自治会ホームページ閲覧率74%」というのは、とても特徴的な数字です。全国的な傾向や他の自治体の状況と比べると、かなり高い水準にあると考えられます。

全国・他自治体の状況

1. 自治体広報の到達状況

- ・ 総務省やいくつかの調査では、自治体の公式ホームページは住民全体のうち **3～4割程度が閲覧経験あり** にとどまると報告されています。
- ・ 特に高齢層では「存在を知っているが見ない」「スマホ操作が苦手でアクセスしない」という声が多いです。

2. 町内会・自治会レベルのHP

- ・ 公開はされていても、実際にアクセスする住民は「せいぜい2～3割」という例が一般的です。
 - ・ 多くの地域では「回覧板や掲示板が主流」で、HPは補助的位置づけにとどまることが多いです。
-

あなたの町内会の「閲覧率 74%」の評価

- ・ 非常に高い水準

全国自治体や他町内会の例と比べて、倍以上の閲覧率。

- ・ 背景要因として考えられること

1. パソコン利用率 68%・スマホ利用率 85%と高め → アクセス環境が整っている。
2. 高齢層でもデジタル活用が進んでいる（先ほどの比較で明らか）。
3. ホームページが「単なる掲示板」ではなく、実際に見に行く動機（イベント情報、防災情報、写真、更新頻度など）がある。

示唆されること

- ・ デジタル連絡の基盤が整っている町会

回覧板や紙媒体に大きく依存せずとも、ホームページやメール、LINEなどで住民に情報を届けやすい環境。

- ・ 全国的に見ても先進的な事例

他の自治体・町会から参考にされるレベルの「住民による ICT 活用」が根付いているといえます。

- ・ 次の展開の可能性

- ・ HP にアクセスした人を起点に「双方向のやりとり（意見募集・アンケート）」を広げられる
- ・ SNS 連携（LINE 公式、Facebook グループなど）でさらに若年層にアプローチ
- ・ 防災時の情報発信基盤として強化

以 上